

展覧会

コレクション展Ⅱ

7月6日(土)～11月10日(日)

*毎月第2日曜日は公益財団法人伊藤文化財団のご協力により無料で観覧できます。

小企画

「美術の中のかたち—手で見る造形

八田豊展 流れに触れる」

触覚で作品を楽しむことができるこの企画。30回目の今年、八田豊氏が指先から伝わる感覚のみを頼りに、楮を平面に貼りつけた作品をご紹介します。目にも美しいこれらの作品に触れることで、作家が手で見た風景を追体験してみてください。



八田豊《流れ97-08》1997年 楮・布

特集1

「けんぴ八景—新収蔵作品紹介—」

ジャンルや時代の異なる当館=県美(けんぴ)の多彩なコレクションを8つの「景色」に見立て、2018年度に新たに収蔵された作品をそれぞれの「景色」の中で紹介します。



金山平三《菊》1921年頃

特集2「没後80年

村上華岳」

兵庫県ゆかりの日本画家、村上華岳(1888-1939)の画業を当館のコレクションでたどります。



村上華岳《菩提樹下観法之図》1934年

関連イベント

■ミュージアム・ボランティアによるガイドツアー
会期中の金・土・日曜の13:00～(約45分)
参加無料(内容により要観覧券)

コレクション展Ⅲ

11月23日(土・祝)～2020年3月1日(日)

*毎月第2日曜日は公益財団法人伊藤文化財団のご協力により無料で観覧できます。

小企画

「塩売りのトランク

マルセル・デュシャンの『小さな美術館』

マルセル・デュシャン(1887-1968)による《トランクの中の箱》は、彼自身の主要作品のミニチュアや写真複製等で構成されています。革製のトランクに全ての要素を収納することができ、「持ち運びできる小さな美術館」(デュシャン)として作られています。このデュシャンの言葉を文字通り受け取るひとつの方法として、本企画では作品中の個々の要素の提示を試みます。

特集

「もうひとつの日常」

1970年の県立近代美術館開館以来約50年にわたり築かれた当館コレクションをさまざまな角度からご紹介します。

小坂象堂《草摘み(摘草)》1897年頃



次回特別展

ゴッホ展

2020年1月25日(土)～
2020年3月29日(日)

自然観察によって描いたオランダのハーグ派と、印象派の画家たちの影響を受け、ゴッホの作品がどのように形成されていったかに迫ります。



フィンセント・ファン・ゴッホ《糸杉》
1889年6月 油彩・カンヴァス 93.4×74cm
メトロポリタン美術館
Image copyright © The Metropolitan Museum of Art.
Image source: Art Resource, NY

共催展

日本・ポーランド国交樹立100周年記念 サンテレビ開局50周年記念 ショパン—200年の肖像

10月12日(土)～11月24日(日)

10:00～17:00(初日のみ11:00開場)

ギャラリー棟3階にて

入場料:一般1,400円、大高生800円、小中生600円

主催:ショパン展神戸実行委員会(神戸新聞社、サンテレビジョン)

問合せ先:ハローダイヤル

050-5542-8600

(11/30まで)

全日8:00-22:00

アリ・シェフェール
《フリデリク・ショパンの肖像》1847年
Dordrechts Museum



関連イベント

■「ショパンとポーランド～音楽と映像で迎える歴史～」

10月12日(土)、13日(日)、14日(月・祝)

各日 11:30開演(約60分)

出演:西水佳代氏(ピアニスト)

アトリエ1にて 入場料:無料(要ショパン展観覧券)
150名先着

■講演会「『ベルサイユのばら』の遠景とショパン」

10月12日(土) 13:00～(約90分)

講師:関口時正氏(翻訳家、東京外国語大学名誉教授)

ミュージアムホールにて

入場料:無料(要ショパン展観覧券)

250名先着

■コンサートパフォーマンス「フリデリクの心臓」

10月12日(土) 15:00～(約60分)

出演:牧村英里子氏(ピアニスト、ステージパフォーマー)

アトリエ1にて 入場料:無料(要ショパン展観覧券)

150名先着

■講演会「ショパンを育んだ都市ワルシャワ—
近世末から近代前半の100年間の変貌」

10月13日(日) 13:00～(約90分)

講師:白木太一氏(大正大学教授)

ミュージアムホールにて

入場料:無料(要ショパン展観覧券)

250名先着

■「優雅なるショパンの調べ～ワルシャワを散策しながら～」

10月13日(日) 15:00開演(約60分)

出演:野々村亜梨沙氏(ピアニスト)

アトリエ1にて 入場料:無料(要ショパン展観覧券)

150名先着

■講演会「ポーランドの民族舞踊マズルカとショパン」

10月14日(月・祝) 14:00開演(約90分)

講師:下田幸二氏(音楽評論家、ピアニスト)

アトリエ1にて 入場料:無料(要ショパン展観覧券)

150名先着

■講演会「親日国No.1ポーランド～日本との熱き絆と感動の秘話」

10月20日(日) 14:00～(約90分)

講師:河添恵子氏(ノンフィクション作家)

ミュージアムホールにて

入場料:無料(要ショパン展観覧券)

250名先着

■講演会「澤田柳吉ピアノ・リサイタル
再現レクチャー・コンサート」

10月22日(火・祝) 14:00開演(約180分)

講師:多田純一氏(奈良佐保短期大学専任講師)、
山崎千加氏(ピアニスト)

アトリエ1にて 入場料:無料(要ショパン展観覧券)

150名先着

■ショパンファンタジア

10月27日(日) 15:00開演(約120分)

出演:石井玲子氏(ピアノ)、植田延江氏(ヴァイオリン)、
北中綾子氏(ピアノ)、關谷範子氏(ピアノ)、
田中正也氏(ピアノ)、湊谷亜由美氏(ピアノ)

アトリエ1にて

入場料:有料(料金はショパン展本チラシ・公式HP参照)

150名先着

■シンポジウム「知られざる日本とポーランドの友好の絆—
ポーランドのシベリア孤児と神戸・大阪」

11月17日(日) 14:00～(約120分)

講師:松本昭男氏、ヴェスワフ・タイス氏、岡崎拓氏、
藤井和夫氏(司会)

ミュージアムホールにて

入場料:無料(要ショパン展観覧券)

250名先着

主催:ショパン展神戸実行委員会(神戸新聞社、
サンテレビジョン)

問合せ先:ハローダイヤル 050-5542-8600

(11/30まで 全日8:00-22:00)

イベント

ミュージアムコンサート

■美術館の調べ

10月5日(土)

佐藤佑樹ピアノリサイタル



佐藤佑樹

<演奏曲目>ベートーヴェン「ピアノソ
ナタ第21番『ワルトシュタイン』」/ショパン「エチュード
作品25-10」

<出演者のひと言>難聴に苦しむベートーヴェン
が生み出した名曲「ワルトシュタイン」。美術館に響
く美しい音楽をお楽しみいただければと思います。
是非お越し下さい。◎佐藤佑樹(ピアノ)。京都市立
芸術大学音楽学部4年生)

アトリエにて 14:00～ 無料

■美術館の調べ

10月19日(土)

フルート金川知子&

ピアノ高橋千恵



金川知子 高橋千恵

～さわやかな秋風にのせて～

<演奏曲目>プーランク「フルートとピアノのための
ソナタ」/ベルトリョー「ロマンティック組曲」

<出演者のひと言>>心地よい秋のひと時、フルート
の奏でる様々な色彩をお楽しみください。◎金川知
子(フルート。東京藝術大学卒業。第48回全日本学
生音楽コンクール全国1位。県立西宮高校音楽科
非常勤講師)◎高橋千恵(ピアノ。大阪音楽大学
卒業。ピアノ、チェンバロ、オルガン奏者として関西
中心に活動)

アトリエにて 14:00～ 無料

■美術館の調べ

10月26日(土)

ピアノトリオで巡る

作曲家の風景より



原田潤一 中島紗理 西村奈葉

<演奏曲目>ハイドン

「ピアノ三重奏曲 ト長調 Hob.XV:25『ジプシートリオ』」
/ブラームス「ピアノ三重奏曲第1番 ロ長調 Op.8」

<出演者のひと言>>ピアノ、ヴァイオリン、チェロの3
つの楽器で、ドイツの偉大な作曲家の深い森の中
に入ってみます。彼らの様々な景色を皆様と共有で
きたら幸いです。迷ってしまわないように気をつけ
ないと…。◎原田潤一(ヴァイオリン。オーストラリア・